

熊谷市コミュニティ施設利用ガイドライン(改訂第2版)

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大の予防と施設の開館の両立を進めるために、国が提唱する「新しい生活様式」の実践を図りながら本市のコミュニティ施設をご利用いただく上での基本的な考え方を示すものです。

令和2年7月1日に「熊谷市コミュニティ施設利用ガイドライン」を一部改訂しましたが、埼玉県及び首都圏の感染状況等から再度改訂するものです。

改訂第2版 令和2年8月1日
熊谷市市民部市民活動推進課

1 「新しい生活様式」とは

<実践例>

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

人との距離は、できるだけ2m空ける

会話をする際は、可能な限り真正面を避ける

外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用

手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒液の使用も可）

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

まめに手洗い、手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気

身体的距離の確保 「3密」の回避（密集・密接・密閉）

毎朝 体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

2 対象施設

本ガイドラインの対象施設は、本市のコミュニティ施設、市民活動支援センターとする。

3 適用期間

本ガイドライン（一部改訂）の適用は、令和2年8月1日（土）からとし、感染状況等に変化があった場合には、必要に応じて見直すものとする。

4 基本的な感染症対策の実施

「3密」（密集・密接・密閉）を徹底的に回避した上で活動する。

(1) 密集しない

多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮を行う。

【対策例】

- ・ 人の密度を下げるために、長机1台につき一人など、席の配置を考慮する。
- ・ 対人距離を確保して活動する。（できるだけ四方2mを空けることを目安に）なるべく、対面方式を避ける。
- ・ 部屋の定員の概ね1/2の人数で、かつ最大でも100人以内とし、会場を広く使う。

(2) **密接しない**

飛沫を発生させないように工夫する。

【対策例】

- ・ 近距離での会話や発声の際はマスクを使用する。
- ・ 呼気が激しくなったりする活動は控える。
- ・ 調理や飲食を伴う活動は避ける。

(3) **密閉しない**

換気を徹底する。

【対策例】

- ・ 1時間に1回は窓を開けて換気を行う。(可能であれば2方向の窓を同時に開ける。)

5 具体的な感染症対策の実施（飛沫感染対策、接触感染対策）

(1) **利用者の安全確保**

《体調不良の方の活動自粛》

- ・ 発熱等の風邪の症状がみられる時や体調がすぐれない方の利用は控えること。

《感染予防・感染拡大を防ぐ》

- ・ 入館の際には、手洗いや手指の消毒を行うこと。
- ・ 施設内ではマスクの着用、咳エチケットを徹底すること。

(2) **職員の安全確保**

- ・ 毎日の健康管理を行う。
- ・ マスクの着用、咳エチケット、手洗い・手指の消毒を徹底する。
- ・ 職員等に感染が疑われる場合は、「市職員感染時の対応マニュアル」に従い、適切な対応を行う。

(3) **施設管理**

- ・ 共用部分の手すり、ドアノブ、電気スイッチなど清拭消毒を実施する。
- ・ 各施設の利用人数上限を設定する。
- ・ 利用者は退室時に椅子、机などの接触部分の消毒を実施する。

6 利用の際の留意点

(1) **利用日前**

- ・ 基本的な感染症対策を講じるとともに、事前に利用者への周知徹底を図る。

(2) **利用当日**

- ・ 利用者は最大でも100人以内とし、各施設の利用人数上限を守る。 **※別表1**
- ・ 比較的静粛で座学的な一方向性の類は実施可能とする。
- ・ 会話や発声などで多くの飛沫が発生する活動ではないものとする。
- ・ 直接手で触れることができる展示物等は展示しない。
- ・ 後日、参加者が特定できるようにすること。
- ・ 1時間に1回は窓を開けて換気を行う。(可能であれば2方向の窓を同時に開ける。)
- ・ 活動終了後の会話は控え、できるだけ速やかに退館する。

7 特に注意する活動

集団感染リスクが高い下記の活動は、十分に対策をとること。

- 密接が避けられない活動
(例) 囲碁、将棋、麻雀
※対人距離を確保できない場合はマスクの他、適宜フェイスシールドの着用、
アクリル板やビニールカーテン等で遮へいするなど。(利用者が用意すること。)
- 専ら運動することを目的とした活動
(例) スポーツ、社交ダンス、フォークダンス、チアダンス、体操、踊り
※人と人が接触することのないように特に注意すること。
※マスクを着けて運動等をする場合は、マスクをしていないときに比べて身体への
負荷が著しく大きくなる可能性があるため、無理のないように負荷を下げたり、
休憩をとるなど配慮すること。
※熱中症予防の観点から、こまめな水分補給や室温調整等を行うこと。
- 大きな声を出すことや歌うこと
(例) コーラス、カラオケ、詩吟、民謡

なお、次の活動は感染リスクが非常に高いと考えられるため、引き続き利用自粛をお願いする。

- 息を激しくする活動 (例) 吹奏楽、ハーモニカ、オカリナ、吹矢
- 調理や飲食を伴う活動 (例) 料理教室、調理を伴う活動、茶道

※感染予防のため、当面の間、会議室やロビー等での水分補給以外の飲食は可能な限り避けること。

8 活動日の利用者の把握

- ・利用団体は当日の参加者名簿を作成し、連絡先を把握しておく。感染予防対策及び感染の疑いのある者、感染者が出た場合に速やかな連携を可能にするための措置で名簿の提出は不要。ただし、利用団体で概ね1か月間保管すること。
- ・利用後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、施設管理者へ速やかに連絡すること。

9 7月1日(水)から利用を再開した部屋など

※利用者の皆様には、感染予防の対策を十分に講じていただきながらご利用いただくようお願いいたします。

- 熊谷コミュニティセンター 体力づくり室
 - 大里コミュニティセンター 神輿、グランドピアノ (※1)
 - 大里ふれあいセンター 神輿
- 共用が想定される物品の貸出。

(※1) グランドピアノについて

アルコール消毒液（アルコール入り除菌シートなど）は、鍵盤表面のひび割れの原因や、ピアノ内部に影響を及ぼす恐れがあるため、使用を控えること。

【使用前の注意】

手・指のアルコール消毒後は、手が乾いたことを確認の上演奏すること。

【使用後の消毒方法】

（例）ノンアルコール除菌シートで拭き取りを2回以上、その後、別の布で水拭きと乾拭きをする。

※別表 1

熊谷市立コミュニティセンター

室名	定員(人)		人数上限めやす(人)
第一集会室	48	→	20
第二集会室	18		10
和室	10		5
体カづくり室	—		貸出可

大里コミュニティセンター

室名	定員(人)		人数上限めやす(人)
大集会室	300	→	100
小集会室	40		20
ボランティアビューロー	12		6
和室 1	20		10
和室 2	40		20
会議室 1	30		15
会議室 2	24		12
ホール	120		60
調理室	15		×貸出不可

大里ふれあいセンター

室名	定員(人)		人数上限めやす(人)
1階第1会議室(和室)	100	→	50
2階第1会議室	100		50
2階第2会議室(和室)	15		7
2階第3会議室	10		5

江南コミュニティセンター

室名	定員(人)		人数上限めやす(人)
大会議室	60	→	30
小会議室	20		10

江南第二コミュニティセンター

室名	定員(人)		人数上限めやす(人)
大会議室	60	→	30
小会議室	20		10

市民活動支援センター

室名	定員(人)		人数上限めやす(人)
会議室	35	→	15
ミーティングスペース	10		5
交流スペース	10		5